MEMSOURCE

セキュリティについて

翻訳ワークフローのセキュリティを向上させる Memsource Cloud

概要

私たちのお客様が日々の業務で翻訳している原稿のほとんどは機密性の高いものであり、そのデータを守ることに私たちは最も重点を置いています。クラウドベースのツールである Memsource の導入を検討されるお客様にとっても、セキュリティ要件はとても重要な項目です。ここでは Memsource Cloud のセキュリティについてご紹介します。

Memsource のセキュリティ対策

Memsource は ISO 認証取得済みであり、情報セキュリティマネジメントの国際基準である「ISO/IEC 27001」を遵守し、独立コンサルタントによる定期的なセキュリティ監査を受けています。物理的セキュリティ、データ暗号化、アクセス制御、自社セキュリティの強化など、私たちがお客様のデータを守るために行っている取り組みをご紹介します。

メムソース日本窓口：〒 171-0022 東京都豊島区南池袋２丁目４９－７ 池袋パークビル１階
TEL：03-4360-5563　Email：japan@memsource.com
URL：www.memsource.com/ja　日本語ブログ・マニュアル：blog.memsource.com/ja/

MEMSOURCE

物理的セキュリティ

Memsource 関連施設へのアクセスは、警備員、24 時間のビデオ監視、セキュリティカードシステムにより制御されています。そして私たちのサーバは弊社のオフィスにはなく、さらにセキュリティレベルの高いデータセンターに保管されています。データセンターは有刺鉄線の柵、ビデオ監視、動作検出システム、RFID タグ * を用いたセキュリティカードなどによって守られ、24 時間体制でオンサイトのセキュリティチームが監視を行っています。

データの暗号化

お客様のデータは転送中、保管中ともに暗号化されます。転送中というのは、例えば Memsource Cloud のサーバとユーザの Web ブラウザや Memsource エディタなどのデスクトップアプリケーションの間でデータが送受信される間のことを指します。同時に、安全な環境であるデータセンターに格納されているデータについても暗号化を施すことで、セキュリティのレベルは一段と高くなります。Memsouce サーバへの不正アクセスが万が一発生したとしても、攻撃者はデータを解読できません。

データへのアクセス

お客様のデータへのアクセス権は厳密に管理されています。Memsource Cloud の有料アカウントを取得すると管理者ユーザが作成されます。管理者は、追加ユーザを作成するときに詳細なアクセス権限の設定を行うことが可能です。お客様のご質問やご要望に迅速に対応するために Memsource のテクニカルサポート担当者がアカウントへのアクセスを求めることがありますが、その際も管理者の許可がなくてはお客様のデータにアクセスできません。

データ所有権とプライバシー

サービス利用規約にも記載している通り、お客様が Memsource Cloud にアップロードするデータはお客様の独占所有物であり、データのプライバシー、機密性、安全性を確保することは弊社にとって最優先事項です。Memsource Cloud に送信されたコンテンツは翻訳成果物も含めお客様の独占所有物です。また Memsource は、お客様の同意がある場合、もしくは法律によって強制される場合を除いて、第三者に個人情報を開示することはありません。

冗長性とバックアップ

Memsource のサービスの稼働率は 99.8% を維持しており、お客様のデータの機密性だけでなく可用性 (Availability) も保証します。高い可用性を確保するため、すべてのコンポーネントは n + 2 冗長性モデル * で構成されており、サーバは地理的に離れた 2 カ所のデータセンターに格納されています。さらに、すべてのデータは、ほぼリアルタイムでインクリメンタル・バックアップされており、地理的に離れたデータセンターへは毎日フル・バックアップを行っております。

メムソース日本窓口：〒 171-0022 東京都豊島区南池袋 2 丁目 4 9 − 7 池袋パークビル 1 階
TEL：03-4360-5563　Email：japan@memsource.com
URL：www.memsource.com/ja　日本語ブログ・マニュアル：blog.memsource.com/ja/

MEMSOURCE

Memsource Cloud でセキュリティはどうなるでしょうか

新しいテクノロジーの導入を検討する際、セキュリティは大きな観点です。クラウドベースのツールによって組織の翻訳ワークフローのセキュリティは強化されるでしょうか。逆に弱体化するでしょうか。この質問への答えは以下の二つの点にかかっています。

1. 現在の翻訳プロセスのセキュリティレベルはどれくらいか。
2. Memsource Cloud の導入によってセキュリティレベルはどうなるか。

現在の翻訳プロセスのセキュリティレベルについて

Memsource の導入を検討されるお客様の既存の翻訳環境は多くの場合下記のいずれかに当てはまります。それぞれのセキュリティレベルを見ていきましょう。

シナリオ１：翻訳支援ツールを使用していない

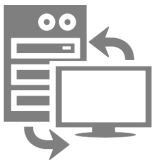
この場合、翻訳用ファイルは E メールまたは FTP で送受信されているでしょう。メールに添付する際にパスワードをかけたり、セキュアな FTP を使用していたりしたとしても、このワークフローにおけるセキュリティはかなり低い水準だと言わざるを得ません。なぜなら翻訳者や翻訳会社にファイルを提供した時点でクライアントはファイルのコントロールを失い、ファイルがどこに保存され、誰がアクセスできるのかなどの重要な事項に関われなくなってしまうからです。クライアントから大手翻訳会社に送信された翻訳用ファイルが、専門特化した翻訳会社に渡り、そこからさらにフリーランス翻訳者に渡るといったケースは多々あります。こうなると、クライアントの知らないところで翻訳用ファイルの複数のコピーが複数のデバイスに保存されることとなります。このような翻訳プロセスの例はセキュリティのレベルとしては全く不十分でありながら、未だに一般的によく見られるものです。

シナリオ２：デスクトップ型翻訳ツール

デスクトップ型の翻訳ツールで、翻訳メモリ、用語集、翻訳用ファイルなどの主要な翻訳リソースを管理しているというケースについて考えてみましょう。このシナリオも先に挙げたものと似ています。デスクトップ翻訳ツールを使用する際の一般的な手順は、翻訳用ファイルをバイリンガルファイル形式でエクスポートして、それを E メールか FTP を使用して翻訳会社に送信するというものですが、その後は上述のプロセスと同じような経緯でファイルが共有されてしまうからです。さらに、翻訳用ファイルのソースとターゲットの両方が複数の翻訳メモリとして分散することを考えるとセキュリティリスクは増大すると言えます。翻訳メモリはクライアントの今後の翻訳の役に立つものですが、のみならずフリーランス翻訳者が抱える他のクライアントの翻訳にも使用される可能性があります。なぜなら多くのフリーランス翻訳者が一つの翻訳メモリに全てのクライアントの翻訳を格納しているからです。

メムソース日本窓口：〒 171-0022 東京都豊島区南池袋２丁目４９－７ 池袋パークビル１階
TEL：03-4360-5563　Email：japan@memsource.com
URL：www.memsource.com/ja　日本語ブログ・マニュアル：blog.memsource.com/ja/

MEMSOURCE



シナリオ３：自社管理サーバ型翻訳ツール

自社で管理するサーバで翻訳ツールを稼働させる方法は、方向性としては正しいものであり、先に挙げた二つの翻訳プロセスと比較するとセキュリティレベルは高くなります。しかし翻訳ツール用のサーバを自社で運用するには、膨大な費用と専門スタッフが必要になるため、残念ながら簡単な方法とは言えません。また、ほとんどの自社管理サーバ型の翻訳ツールでは、翻訳ワークフローの全体を通して一定のセキュリティレベルを保つことが困難です。例えば翻訳会社がフリーランス翻訳者に作業を割り振る際など、どこかの段階で、バイリンガル形式のファイルがエクスポートされることが多々あります。これを許してしまうとフリーランス翻訳者がバイリンガルファイルを自分の PC 上で処理し、個人の翻訳メモリに翻訳データを格納することが可能になるので、セキュリティのレベルは大きく減少し 2 番目に挙げたシナリオと同様になります。

シナリオ４：Memsource Cloud のセキュリティ

Memsource は翻訳のセキュリティを強化するために設計されています。Memsource なら、データの所有者はワークフローの上流から下流に至るまで、翻訳データのコントロールを失いません。管理者は、データへの詳細なアクセス権を設定し、それをいつでも取り消すことができます。機密性の高いドキュメントに関してはダウンロードを禁止することも可能です。翻訳者の作業用に Memsource の Web エディタを提供することにより翻訳データが第 3 者のデバイスに保存されることを回避できます。データは Memsource Cloud のサーバにのみ保存され、極めてセキュリティの高いデータセンター内に格納されます。お客様のデータは保管中、転送中ともに全て暗号化されてます。先述のように翻訳作業が下請け会社やフリーランス翻訳者に外注されるケースにおいても、同様に翻訳プロセス全体を通してコントロールを保つことが可能です。Memsource Cloud は御社の翻訳ワークフローのセキュリティレベルを格段に向上させるでしょう。

*RFID タグとは

Radio Frequency Identification の略であり、微小な無線チップにより人やモノを識別・管理する仕組みです。

*n ＋ 2 冗長性モデルとは

万が一の際にもシステムの稼働を止めないために、予備の設備を用意して故障時に切り替えられるようにしておくことを冗長化といいます。 n ＋ 2 とは予備機を 2 台用意することであり、障害に対して高い耐性を持つ構成です。

メムソース日本窓口：〒 171-0022 東京都豊島区南池袋２丁目４９－７ 池袋パークビル１階
TEL：03-4360-5563　Email：japan@memsource.com
URL：www.memsource.com/ja　日本語ブログ・マニュアル：blog.memsource.com/ja/